

〈事業報告書等提出書の様式〉

別記第5号様式の3（第2条関係）

令和3年 月 日

北海道知事 様

特定非営利活動法人の名称 特定非営利活動法人 バ双葉の露  
代表者の氏名 遠藤 崇浩 印  
電話番号 080-2864-0635

事業報告書等提出書

次に掲げる前事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条（第52条第1項の規定により読み替えて適用する同法第29条・第62条において準用する同法第52条第1項により読み替えて適用する同法第29条）の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の活動計算書
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の財産目録
- 5 前事業年度の年間役員名簿
- 6 前事業年度の末日における社員のうち10人以上の者の氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）及び住所又は居所を記載した書面

（備考）

- 1 特定非営利活動に係る事業のほか、その他の事業を行う場合には、活動計算書を一つの書類の中で別欄表示し、また、その他の事業を実施していない場合は脚注においてその旨を記載するか、その他の事業の欄全てに「ゼロ」を記載すること。
- 2 上記5の書類は、前事業年度において役員であったことがある者全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿とすること。
- 3 この提出書による事業報告書等の提出に併せて、閲覧及び謄写の用に供する書類として上記1から6までの書類の写し〔各2部〕を添付すること（特定非営利活動促進法施行条例第12条第1項の表の第6号）。ただし、条例第25条第1項の規定により非所轄法人が提出する場合は、当該写しの添付を要しない。
- 4 2以上の都道府県の区域内に事務所を設置する認定特定非営利活動法人又は仮認定特定非営利活動法人が法第52条第1項（法第62条において準用する場合を含む。）の規定に基づき、知事以外の関係知事に提出する場合には、提出先の各都府県が定めるところによること。

（日本工業規格 A4）

令和元年度事業報告書

2020年4月 1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 双葉の露

1 事業の成果

Bau集団が提唱する「建築と福祉の融合」は建築士として福祉団体各位で福祉事業の中で建築の役割を理解頂く事が重要で有り多くの講習会、講演会に参加したり開催する事で徐々に浸透している事を実感しています。市民に対しては建築士の敷居を下げる事は出来ないのを実感している中で、建築全般において、価格、業務全ての面で実践的に普及させる途をつたと認識できてきた、福祉用具レンタル事業も含め、原価と経費による価格設定の理解が徐々に進行して来ている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
重要文化財の利活用に関する事業		別紙				
周知に関する事業		通年				
維持管理に関する事業	福祉用具レンタル	通年				

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
	行わない				

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施月日、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施月日、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。
- 6 事業の支出額は、活動計算書の事業費との整合性を図る。

## 第1号議案 2020年度事業活動報告に関する件

コロナの影響により、アピールも行わず無理な一般開放を  
しませんでした、利用者の依頼のみ対応する事とした。

1. 重要文化財「双葉幼稚園園舎」の利活用に関する事業、改修計画作成事業
  - 1) コロナの影響で8月旧盆より一般開放を行う
  - 2) NPO法人「双葉の露」が保存活用計画書を作成し改修を進めるのに管理団体とし認められるかを市教委→道教委→文化庁の流れで確認問い合わせ中と昨年報告したが、市教委内の担当部署変更で所有者専任事項との言い分で進展していません。
2. 周知に関する事業
  - 1) 写真葉書を募金者に贈呈を昨年引き続き行う。
    - ① 募金を充当し行った。
  - 2) 一般開放事業
    - ① 別紙-1による
3. 建物の維持管理に関する事業
  - 1) 緊急な建物修繕、周辺環境の整備
    - ② 垣根の整備 1回
    - ③ 芝刈り 2回
    - ④ 倒木が有り、支障となる立木の伐採残材の処分を行う。
  - 2) 園舎見学及び使用団体に付いて
    - ① 下音更中生徒見学(授業の一環)
    - ② 光南小学校4年生61名先生6名見学(授業として)
    - ③ 障がい者施設の利用
4. 資料・備品の整備事業
  - 1) 資料及び備品の整理及び展示を進める。
    - ① 桑原翠鳳書の展示を常設とする。
    - ② 重文指定附けたり図面を実物大コピーで常設展示とする。
    - ③ 青い目の人形の常設展示を行う。
    - ④ 園内掲示物を全てパネルに貼り掲示を行う。
5. 理事会開催に付いて
  - 1) 総会開催準備の理事会を含め4回の開催をする。



参考様式（法第28条第1項）

令和2年度 活動計算書  
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで  
(特定非営利活動法人の名称)  
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
個人正会員 41名 41口	410,000	
個人協賛会員 30名 50.5口	101,000	
法人協賛会員 5社 5口	100,000	611,000
2. 受取寄附金	100,000	100,000
3. 受取助成金等		
4. 施設維持協力金	4,000	
5. その他収益 募金	65,796	69,796
経常収益計		780,796
II 経常費用		
1. 事業費		
施設整備費	403,386	
宣伝広告費	5,000	
イベント費(一般公開管理費含む)	109,610	
会員増強費(郵便代含む)	0	517,996
総会費及び会議費	1,093	1,093
事業費計		519,089
2. 管理費		
会議費	0	
水道代(電気代は無し)	3,693	
通信費(携帯電話、郵便代)	60,066	
振込料	10,599	
事務用品費	23,173	97,531
管理費計		97,531
経常費用計		616,620
当期経常増減額		164,176
経常外費用計		
税引前当期正味財産増減額		164,176
法人税、住民税及び事業税		
当期正味財産増減額		157,707
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		321,883

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

参考様式（法第28条第1項）

令和2年度 貸借対照表  
令和3年3月31日現在

（特定非営利活動法人の名称）  
（単位：円）

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	321,883		
未収金			
流動資産合計		321,883	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計			
固定資産合計			321,883
資産合計			
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計			
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計			
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	157,707		
当期正味財産増減額	164,176		
正味財産合計		321,883	
負債及び正味財産合計			321,883

参考様式（法第28条第1項）

令和2年度 財産目録  
令和3年3月31日現在(特定非営利活動法人の名称)  
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	224,967		
銀行普通預金	29,079		
帯広信用金庫			
ゆうちょ銀行	25,436		
ゆうちょ銀行			
振り込み用	42,401		
未収金			
事業未収金			
流動資産合計		321,883	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計			
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計			
固定資産合計			
資産合計			
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
預り金			
流動負債合計			
2. 固定負債			
長期借入金			
銀行借入金			
固定負債合計			
負債合計		0	
正味財産			321,883

## 会計監査報告

監査を実施した結果、  
事業報告書及び財務諸表はいずれも正確にして適法であることを認めます。

令和2年4月 日

監事 上 徳 善 也 印

参考様式（法第28条第1項）

令和3年度 活動予算書  
 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで  
 （特定非営利活動法人の名称）  
 （単位：円）

科目	金額			備考
I 経常収益				
1. 受取会費				
個人正会員 46名 46口	460,000			5口増
個人協賛会員 35名 65.5口	131,000			5口増
法人協賛会員 6社 6口	120,000	711,000		1口増
2. 受取寄附金	50,000	50,000		
3. 受取助成金等				
4. 事業収益	20,000			
5. その他収益 募金	25,000	45,000		
6. 前年度繰越金	321,883	321,883		
経常収益計			1,127,883	
II 経常費用				
1. 事業費				
1. 利用活用に関する事業 ワンコインコンサート	75,000			ホスター、出演料、 椅子10脚
ピアノ調律	50,000			2台
園舎美装	30,000			園舎全体
一般開放管理費	260,000			65日×4,000
ピアノカバー	30,000	445,000		
2. 周知に関する事業 パンフの作成	10,000			
ホームページ保守管理	15,000			
5. 保存された資料の調査研究	30,000	55,000		展示用物品 寄付金充当
6. 敷地の維持管理 トイレ設置	220,000			洋式1か所新設
垣根整備	75,000			1階
芝刈り	30,000			6回
火報点検	25,000			
8. 法人に必要な資料の編纂及び刊	100,000	450,000		
事業費計			950,000	
2. 管理費				
会議費	5,000			
水道代(電気代は無し)	30,000			
通信費(携帯電話、)	25,200			携帯 2100×10
(郵便代)	45,000			郵送 150名×3回
事務用品費	50,000	155,200		用紙、インク代
雑費	22,683	22,683	177,883	
管理費計			177,883	
経常費用計			1,127,883	
当期経常増減額			0	

※ 今年度はその他の事業を実施していません。